

高尾理事、代償措置で事実上のゼロ回答！

高尾理事の暴言珍言に唖然！「代償措置と言ったことは一度もないけど、これは代償措置です」

「うちの代償措置案は日本で一番よいと思っております」「労働委員会で勝つ自信あります」

中山総務部長 組合側主張の一部受け入れを示唆、なお交渉中

高尾理事、人件費流用リストを代償措置と強弁

金沢大学で働くすべての教職員の皆さん！ 教職員組合執行部は12月4日、高尾理事を含む大学当局とこの秋3回目となる団体交渉を行いました。高尾理事は、教職員組合が要求した賃金・期末手当カットにともなう代償措置リストに対して「検討するに値するかどうか、検討する。検討には半年か一年はかかる」と、事実上のゼロ回答を行いました。「半年か一年」はさすがに交渉中、撤回しましたが、少なくとも年度内に真摯に検討する姿勢がないことは明らかです。執行部が、当局側の流用リストは代償措置に値しないし、代償措置として検討された形跡もない、との追求に高尾理事は「いや、代償措置です」を繰り返すばかり。では「代償措置という用語を用いて説明したことがあるのか、もしあるとすればいつからなのか諸会議の議事録で確認せよ」と迫られると「いや、代償措置という用語を使ったことは一度もないので、議事録にはありません」と答えるではありませんか！ 流用リストは代償措置として検討した形跡のないことを自ら認めながら、組合に追求されると、「これは日本一の代償措置だ」と強弁する。こんな厚顔無恥、不誠実きわまりない人物が理事として君臨する大学に働いている不幸を嘆かざるを得ません。

教職員組合が要求したおもな代償措置リスト

- パート職員に5万円のボーナス支給を
- 附属病院看護師の夜勤手当を、国立病院・東大病院並みに
- 附属学校教員に入試手当を
- すべての教員に研究費として還元を
- すべての職員の自主研修(簿記・PC・英会話等)に補助金として還元を

団交で私たちは、組合側の代償措置案について協議する作業チーム設置を提案(大学側出席メンバーは中山総務部長、深津人事課長、西尾人事課副課長、中野人事課職員係長)、9日になって中山総務部長は、組合側の主張を一部受け入れる方向で検討していると表明しました。内容や金額はなお、高尾理事や財務部門との協議が必要なので明らかには

できないとのことで、組合執行部は交渉を継続しています。また組合側も、年度内に実現可能な、より現実的な代償措置案を更に検討し、提案していきます。

看護師夜勤手当に関しては、組合側が他大学附属病院や独法国立病院機構の金額表を提出し、金大病院が低い水準にあることを指摘すると、当局側は、早急に調査して病院担当の古川理事に結果を伝達することを約束しました。

他方で組合執行部は、当局側提案が3.6億円の賃金カット額を大きく下回るようであれば、ただちに石川県地方労働委員会に斡旋調停を申請すべく書類準備も進めています。問題はまさに最終盤を迎えています。

組合と共に給料を取り戻そう！

組合に未加入の教職員の方々に訴えます。大学当局は4月に約束した給料をかすめとり、他のハコモノに流用しています。私たちに支払われるべき給料を取り戻しましょう。組合に加入して、組合の力を強めましょう。高尾理事の厚顔無恥な暴言放言を繰り返させてはなりません。労働委員会で、当局の「労働者のうちの少数意見に過ぎない」との主張を阻止し、私たちの正しい意見を反映させねばなりません。大学がまっとうに運営されるためには強力な組合の存在が不可欠です。組合と共に給料を取り戻しましょう。

奪われた給料を取り戻しましょう。あなたの力が必要です！ 組合への加入を訴えます！ 数の力が労働委員会での発言力を強めます。

組NEWS合
号外

2009年12月10日 発行

Faculty and Staff Union of Kanazawa University
発行：金沢大学教職員組合執行委員会
住所：金沢市角間町 角間内線2105
直通電話(076)262-6009 (FAX 同)
E-mail kanazawa@ku-union.org
ホームページ http://www.ku-union.org/